

登録コード	E2120900	開講年度	2026			
授業科目	外国史 I				担当教員	野口 舞子
英文授業名	Foreign History				副担当	
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	木曜・2時限	対象学生
講義室	教育M301講義室		授業形態	講義	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー 該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				⇔	【授業の達成目標】
	26Eカリ, 25Eカリ, 24Eカリ, 23Eカリ, 22Eカリ, 21Eカリ, 20Eカリ					
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観				⇔	・ヨーロッパ・地中海世界の成立や基盤を理解し、現代の社会や国際関係を多角的に見ることができるようになる（達成目標①）。
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能				⇔	・歴史教育を行う上で重要な歴史事象について説明し、具体的に授業を構想できるようになる（達成目標②）。 ・修得した知識や考察を、論理的な文章として適切に表現できるようになる（達成目標③）。
(2)授業で学べる「テーマ」	芸術文化、多文化協働					
(3)全学横断特別教育プログラム						
(4)授業の概要	本授業は、古代から中世までの地中海地域の各時代を特徴づける歴史事象や宗教的な事柄を掘り下げて検討することで、外国史への理解を深めながら、歴史的思考を身につけることを目的とする。授業は講義と模擬授業を組み合わせよう。					
(5)授業計画	第1回：オリエンテーション（分担、模擬授業の方法の確認など）、外国史の意義 第2回：世界史へのまなざし 第3回：古代地中海世界①ギリシア 第4回：古代地中海世界②ローマ（～共和政） 第5回：古代地中海世界③ローマ（帝政） 第6回：古代地中海世界④ローマの分裂 第7回：文化史教育について考える 第8回：中世ヨーロッパの社会と文化 第9回：イスラームの拡大 第10回：模擬授業①西ヨーロッパ 第11回：模擬授業②南ヨーロッパ 第12回：宗教と歴史①ユダヤ教、キリスト教 第13回：宗教と歴史②イスラーム 第14回：外国史と世界史教育、授業アンケート ※教育実習による欠席分の補講は、課題の提出・添削等で対応する。					
(6)成績評価の方法	・授業の達成目標①の到達度を測る授業への取り組み・事後課題 40点 ・授業の達成目標②の到達度を測る模擬授業 20点 ・授業の達成目標③の到達度を測るレポート 40点 ・得点率による評価基準は次の通りとする。 90%以上 秀、89-80% 優、79-70% 良、69-60% 可、59%以下 不可					
(7)成績評価の基準	・レポートの評価基準は以下の通り。 (i) 問題の設定が適切である。(ii)問題に関する先行研究をよく調べ言及している。(iii)レポートの形式が適切である。(iv)の既存の学説が提示する解決法を適切に把握し、問題点や限界を指摘している。(v) その上で自分の見解を論理的に提示できており、かつ、(vi) 教員を感心させるレベルにあれば「卓越している」。 (i) から(vi)の5項目を満たしていれば「かなり上にある」。4項目まで満たしていれば「やや上にある」。3項目まで満たしていれば「水準にある」。					
(8)事前事後学習の内容	・事前学習：前回授業の資料などを確認して復習を行う。授業内容について調べ学習を行い、予備知識を得る。 ・事後学習：授業で提示した課題に取り組み、考察および文献・資料調査の成果を提出する。また、授業内で提示した参考文献を読み、課題への理解を深める。 ※この授業は90時間の学修を必要とする内容である。従って、60時間以上の時間外学習が必要となる。					
(9)履修上の注意	・不明点は質問するなど、意欲的に授業に参加することが望まれる。 ・資料の配布、授業の振り返り、レポート提出等は主にeALPSを利用する。					
(10)質問、相談への対応及び連絡先	・オフィスアワー：M315研究室、平日在室時は随時。 ・連絡先：noguchi_maiko@shinshu-u.ac.jp					
【教科書】	・原則として使用しない。必要に応じて資料を配布する。					
【参考文献】	・講義の中で適宜指示する。					